

[報 告]**後藤英昭准教授と曾根秀昭教授の研究グループが
大学 ICT 推進協議会 2011 年度年次大会・優秀論文賞を受賞しました**

サイバーサイエンスセンターの後藤英昭、曾根秀昭が、大学 ICT 推進協議会 2011 年度年次大会・優秀論文賞を受賞しました。

本受賞は、大学 ICT 推進協議会 2011 年度年次大会における下記の発表論文が高く評価されたものです。

対象論文：

「キャンパス無線 eduroam 導入のメリットと国内外の動向」

後藤英昭，曾根秀昭

(この賞は、大学 ICT 推進協議会年次大会において発表された論文・ポスターのうち、特に優れた業績と認められたものに与えられるものです。)

会議情報：

大学 ICT 推進協議会年次大会

<http://axies.jp/ja/conf>

研究背景：

サイバーサイエンスセンター・CSI 研究室は、国際的な学術系無線 LAN ローミング基盤である eduroam(エデュローム)を 2006 年に日本に初導入し、国立情報学研究所と共同で、国内の基盤である eduroam JP を立ち上げ、その運用および研究開発を行ってきました。1,200 以上もの高等教育機関を有する日本において、キャンパス無線 LAN の安全性向上や、eduroam 導入の技術面および運用面のコスト低減は必須であり、そのための啓発活動、技術開発、および評価・運用を行うとともに、キャンパスネットワークのユビキタス化に向けての研究開発などを推進しています。これらの一連の活動は、研究成果から実運用への適用と、多数機関の eduroam 参加促進の効果が実証されています。